

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

ルネサス エレクトロニクス株式会社

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/contact/>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RX*-A018A/J	Rev.	第1版
題名	ポートアウトプットイネーブル 2 (POE2)、ポートアウトプットイネーブル 3 (POE3) におけるハイインピーダンス状態からの解除時の注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	RX62N グループ、RX621 グループ RX62T グループ	対象ロット等	関連資料	RX62N グループ、RX621 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 RX62T グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編	
		全ロット			

ポートアウトプットイネーブル 2 (POE2)、ならびにポートアウトプットイネーブル 3 (POE3) に以下に示す注意事項がありますので、該当する場合は対策に示す方法で使用してください。また、これらに伴いマニュアルを訂正しますので、訂正内容を示します。訂正内容は RX62N グループ、RX621 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編を例に説明します。その他のグループのマニュアルでの掲載箇所は末尾の「表 1. マニュアルと POE の章番号」を参考にしてください。

1. ハイインピーダンス状態からの解除

1.1 注意事項

出力レベル検出でハイインピーダンス状態になった MTU 用の端子は、リセットで初期状態に戻すか、OCSR1.OSF1 フラグ、または OCSR2.OSF2 フラグを“0” にすることにより解除されます。非アクティブレベルを出力するようにせずに OCSR1.OSF1 フラグ、または OCSR2.OSF2 フラグを“0” にクリアすると、MTU 用の端子は出力衝突状態にもかかわらずハイインピーダンス状態を一旦解除し、その後再度ハイインピーダンス状態に戻ります。

1.2 対策

MTU 相補 PWM 出力用の端子から非アクティブレベルを出力するようにしてから OCSR1.OSF1 フラグ、または OCSR2.OSF2 フラグを“0” にクリアしてください。

1.3 マニュアルの記述訂正

「19.3.5 ハイインピーダンス状態からの解除」の本文を訂正します。赤字の部分が訂正した内容です。

【訂正後】

出力レベル検出でハイインピーダンス状態になった端子は、パワーオンリセットで初期状態に戻すか、OCSR1.OSF1 フラグ、OCSR2.OSF2 フラグを“0” にすることによって解除されます。**OCSR1.OSF1 フラグ、OCSR2.OSF2 フラグを“0”にする場合は、端子から非アクティブレベルを出力するようにした後にしてください。**非アクティブレベル出力は、MTU 内のレジスタ、GPT 内のレジスタ、および ALR1 レジスタを設定することで行うことができます。

表 1 マニュアルと POE の章番号

グループ	関連資料	Rev.	管理番号	POE の章番号
RX62N、RX621	RX62N グループ、RX621 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編	1. 30	R01UH0033JJ0130	19
RX62T	RX62T グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編	1. 31	R01UH0034JJ0131	17